

令和5年度（2023年度）
大分大学医学部看護学科学学校推薦型選抜
試験問題

小論文

(注意)

1. 問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 小論文は全部で2問題あり、合計4ページあります。また、解答用紙は5枚、下書き用紙は5枚あります。
3. HB又はFの鉛筆もしくはシャープペンシルで書き、万年筆、ボールペン、色鉛筆などは使用してはいけません。
4. 監督者の指示に従い、解答用紙の所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入しなさい。
5. 解答は横書きとし、マス目がある解答欄には1マスに1字記入しなさい。句読点は1字とします。ただし、ローマ字、数字はマス目にこだわりません。
6. 答案のはじめに問題の文章を転記する必要はありません。
7. 下書き用紙は自由に使用してかまいません。
8. 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってかまいません。

問題 1

次の図 1～図 5 は、令和 2 年 9 月～令和 3 年 2 月に、日本、米国、中国、韓国の高校生を対象に実施した、「社会参加に関する意識や実態の国際比較調査」において、学校内活動への参加について示されたものである。次の設問に答えなさい。

設問 1. 図 1～図 5 よりわかることを 5 つ箇条書きで記述しなさい。

設問 2. 図 1～図 5 を踏まえ、日本の高校生の学校内活動への参加意識や態度について、その特徴と課題について論じなさい。(400 字以内)

図1 学校行事（運動会や文化祭など）

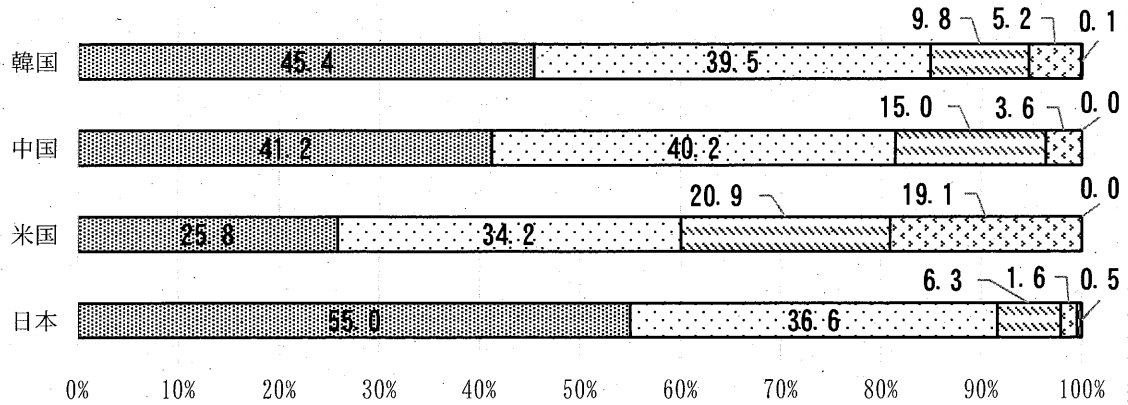


図2 グループでテーマに沿って話し合ったり、議論したりすること

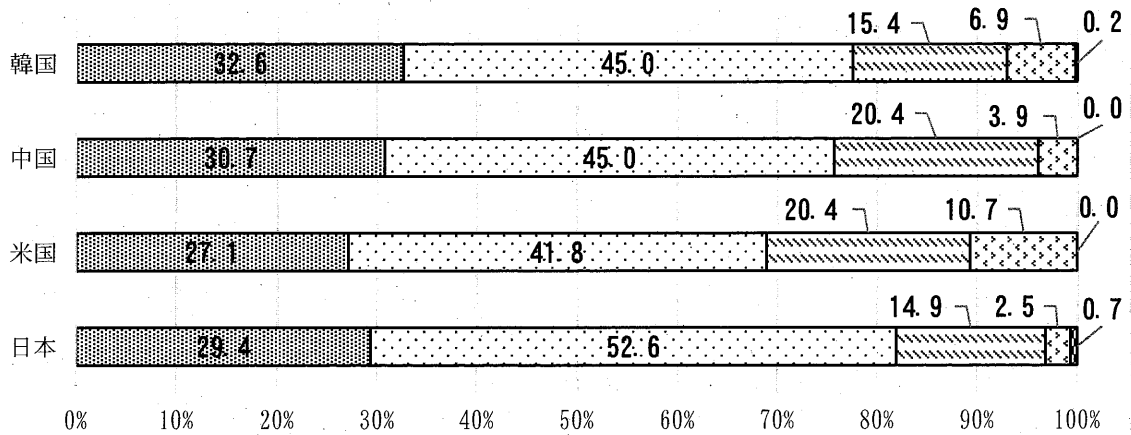


図3 学校や学級運営など、生徒の意見を反映させるための活動

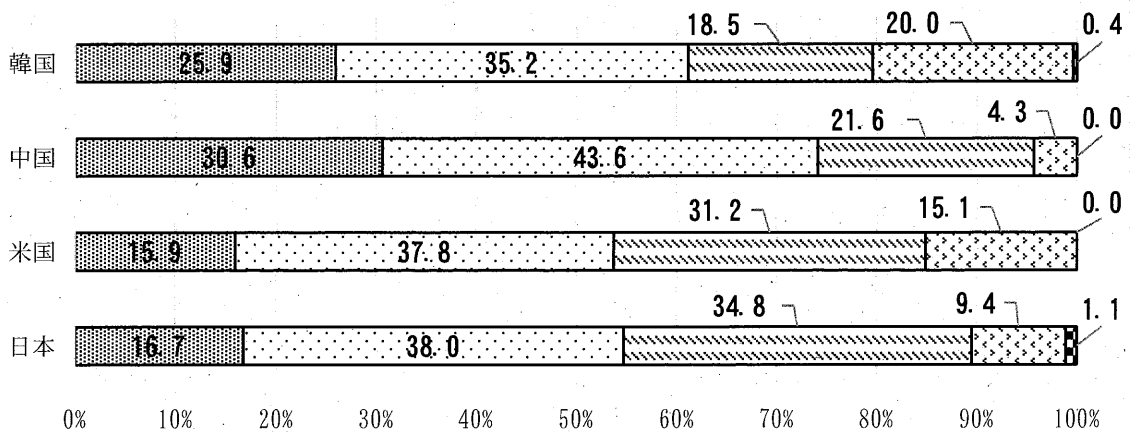


図4 部活やクラブ活動

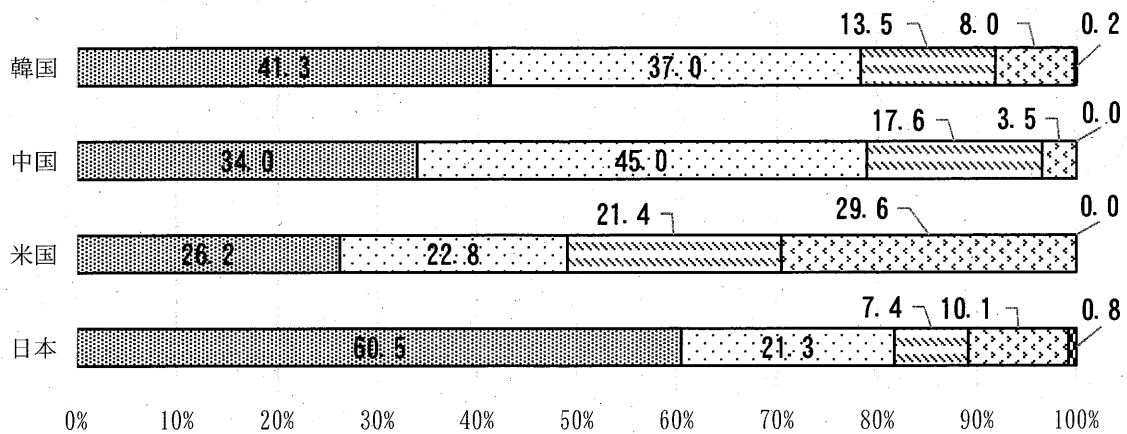
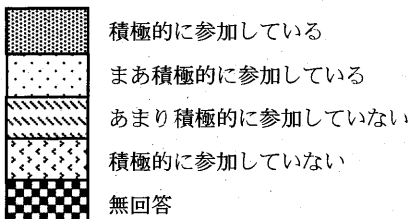
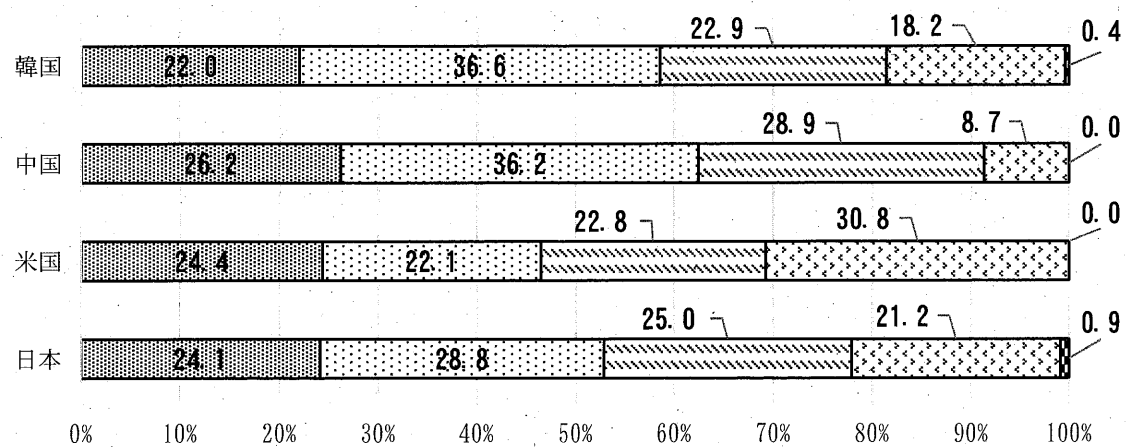


図5 コンクールやコンテスト



(パーセントの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一式の質問項目であっても、その和は必ずしも100.0%に一致しない。)

引用資料

国立青少年教育振興機構 高校生社会参加に関する意識調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較— 令和3年6月 より抜粋・一部改変

問題2 現在、社会では、多様な背景・個性・価値観をもつあらゆる人々との共生社会の実現を目指している。そこで『あらゆる人々との共生社会の実現は可能か否か』をテーマに簡易的なディベートを以下の1～3にそって展開しなさい。

1. 立論：①賛成派（実現可能）、②反対派（実現不可能）、それぞれの意見を200字以内で論じなさい。
2. 反対尋問：①賛成派（実現可能）として反対派（実現不可能）に対して、
②反対派（実現不可能）として賛成派（実現可能）に対して、
それぞれ200字以内で質問しなさい。
3. 1・2を踏まえたあなたの考えを300字以内で述べなさい。